

ホームページの  
改ざん瞬時検知  
AGSなど3社が  
自動復旧サービス

【さいたま】AGSは総合警備保障（ALSOK）、デジタル・インフォメーション・テクノロジー（DIT）と連携し、ホームページの改ざんを0・1秒未満で検知し、自動復旧するサービスの提供を始めた。AGSのデータセンターで管理サーバーをクラウド上に構築することで、費用を抑えながら安全な管理を実現する。

DITが開発したサイバーセキュリティ商品「ウェアブルゴースト」を活用し改ざんを瞬時に検知する。ALSOKによる改ざん発生時の顧客企業への緊急通知や、24時間の問い合わせに対応する機能を追加した。企業のホームページを狙った攻撃が巧妙化し、被害の発見が遅れ復旧までに時間がかかるケースが発生していたことに対応した。価格は個別に対応する。